

あかつか
赤塚 めぐみさん 47



「キープセーフ」推進

知的障害や発達障害のある子どもたちの性トラブルを、対話で防ぐ取り組みをする。性的な問題行為のあった障害者の更生プログラム「キープセーフ」を導入する全国の特
別支援学校をまとめる。
キープセーフは「先生が見ている時に、好きな人と手を

おはよう:

つなぐのはいかがでしょうか」といった場面を想定した質問を繰り返す。「自分自身と向き合い、考えを言葉に変え、対話の力を引き出す近道」と説く。

8年前から特別支援学校のスクールカウンセラーになり、性の問題に関心を持った。問題を起こす児童生徒は、反省文を書かされ集団から離される。「人との距離を間違え、行動の認識を誤っていることが原因。孤立することでは改善しない」と感じた。全国では、体験した子どもが「自分の心の動きを語れるようになった」といった効果も報告された。「幸せな人生を送るためのプログラムがあることをもっと知ってほしい」。富士市。(高島碧)